

令和4年7月6日

## 留学中止後 28 ヶ月間の挑戦とその軌跡が向かう明日 - 「C1 Project」とともに -

本学では初めて1年次に英語圏協定校へ派遣予定だった3名の学生は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定の留学を実現することができませんでした。

しかし、学生3名はコロナ禍でも挑戦を続け、国内にとどまりながら最大限達成できる目標を掲げ、その目標により拓かれる進路をそれぞれが模索し、努力を重ねてきました。結果、3名は新たな夢の実現へ一歩を踏み出すことになりました。

令和2年3月、本学では初めて1年次に英語圏協定校へ派遣予定だった3名の学生は、当時定例記者会見に臨みました。会見では入学後約半年で英語力を大きく伸ばし、英語圏の大学で学ぶのに必要なCEFR(1)B2(英検準1級に相当するレベル)のスコアを取得したことにより、交換留学派遣生として選ばれたことや、それぞれの留学への抱負を発表しました。

時を同じくして、新型コロナウイルスの感染拡大により、国際的な人の往来停止を余儀なくされ、この留学は実現されませんでした。

しかし、3名の挑戦はパンデミックの前で止まりませんでした。

それから28ヶ月間、中長期の学習プランの変更を迫られながらも、いずれ到来する状況の好転に備え、国内にとどまりながら最大限達成できる目標を掲げ、その目標により拓かれる進路をそれぞれが模索し、努力を重ねてきました。

一方、国際交流センターとしては、先行きが不透明で閉塞感が漂うなか、彼らの熱意に応えるため、制限された部分を補完する以上の学修環境を提供すべく、それまでの補修プログラムのさらなるレベルアップを図りました。

令和2年10月に「C1 Project」(2)を開講し、グローバル特修プログラムの科目の一つとして提供し始めました。混沌とした情勢の中で、野心的かつ明確な目標を提示し、学生の挑戦とともに、「C1 Project」の存在意義を打ち出すことができました。

その結果、3名はそれぞれに新たな夢の実現へ一歩を踏み出すことになりました。また、「C1 Project」も2022年度前期には83名もの学生が履修登録しており、福島大学で世界に通用する英語力を日々鍛えています。

杉浦 矢功正（すぎうら しぐま）さん（経済経営学類 4 年）:

コロナ禍でも海外留学の夢をあきらめず挑戦し、C1 達成（IELTS 7.5、TOEIC（L&R）970）したほか、米国公認会計士試験の 4 科目のうち、最難関である FAR（財務会計）試験に合格（令和 4 年 5 月）。

本学の交換留学派遣者に選ばれ、令和 4 年 9 月からグラスゴー大学（スコットランド）へ半年間の海外留学を予定。

佐々木 駿（ささき しゅん）さん（経済経営学類 4 年）:

交換留学からオーストラリア・メルボルン大学大学院への進学に目標を切り替え、世界で通用する会計スペシャリストを目指す。その間、C1 達成（IELTS 7.5）したほか、米国公認会計士試験の 4 科目のうち、最難関である FAR（財務会計）試験に合格（令和 4 年 5 月）。

長岡 瞬（ながおか しゅん）さん（共生システム理工学類 4 年）:

大学院進学に目標を切り替え、海外の大学院の選択肢もある中、ロボット研究で福島の復興に貢献しようと福島大学大学院に残ることを決断。その間、TOEIC（L&R）935 取得、衣川研究室チームの一員として知能ロボットコンテストで実行委員会特別賞受賞（令和 4 年 6 月 19 日）。

1 C E F R（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment）

外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠組み。A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 6 段階のレベルに区分されている。

2 「C1 Project」

CEFR C1 レベル（英検 1 級に相当するレベル）の試験スコア取得を目標に、英語圏の大学や大学院での学習と研究に必要な 4 技能を徹底的に鍛えるインタラクティブな自主学修プログラム科目。C1 は英語圏の大学院で学ぶのに必要な英語レベル。

令和 3 年度後期の履修登録者 37 名の内、3 名が C1、11 名が B2 を達成。

(参考資料)

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省 (平成30年3月)

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230   200			9.0   8.5				
C1	199   180	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800	120   95	1990   1845
B2	179   160	2599   2300	1349   1190	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
B1	159   140	2299   1950	1189   960	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150
A2	139   120	1949   1700	959   690		224   135	415   235		1145   625
A1	119   100	1699   1400	689   270					620   320

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。  
 ※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。  
 ※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。  
 ※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

(お問い合わせ先)

学生・留学生課 国際交流センター 何(か)敏

電話：024-503-3066

メール：ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp